

文化庁メディア芸術祭協賛事業

# 第14回 学生CGコンテスト受賞作品発表

受賞作品展は2009年2月4日～15日まで。国立新美術館 入場無料

CG-ARTS 協会（東京都中央区 理事長：永田圭司）は、「第14回学生CGコンテスト」の受賞作品を決定いたしました。

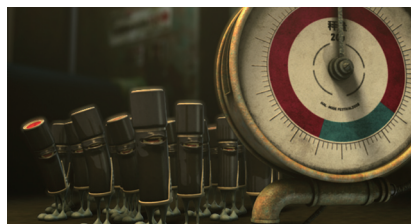
学生CGコンテストは、若い才能の発掘と発表の場を提供するために1995年から毎年開催。今年は、日本各地の小学校6年生から50歳の専門学校生まで、遠くはアメリカやドイツの留学生から、1,017作品のご応募をいただきました。CGという枠組みにとらわれずデジタル技術を用いた新しい表現を評価しており、今年からデジタルフォトも応募対象に加わっています。

静止画部門の最優秀賞は、谷川瑛一さんの『Ship』が受賞。都市の写真にシンプルなエフェクトを加えてファンタジーに描き変えた作品です。動画部門は横田将士さんの『記憶全景』。日常風景の映像を数千枚プリントして切り出した紙を、コマ撮りすることで映像に再構築しています。インタラクティブ部門は、多田ひと美さんの『全的に歪な行且（ぜんてきにいびつなこうかつ）- 第二犯 -』。ネット上のニュースをプログラムによって変容させ、画像と言葉で再構成した作品です。

審査委員から「もはや”学生”という肩書を必要としない、若手作家の集まり」と言われるほど表現豊かな作品が今回も集まっています。受賞作品展は、2009年2月4日から15日まで、国立新美術館（東京・六本木）にて文化庁メディア芸術祭の協賛事業として開催します。

## 今年の特徴

- ・インタラクティブ部門にはじめてのU-18賞
- ・静止画部門はフォトリアルな作品が3点入賞
- ・音楽を主体にした映像作品が特別賞を受賞
- ・動画部門の応募数が110%増加



多彩な受賞作品がWebサイトでご覧いただけます。

## この件に関する問合せ先

[報道関係] 広報 篠原、千葉 <[www.cgarts.or.jp/scg/contact/](http://www.cgarts.or.jp/scg/contact/)> [一般] 学生CGコンテスト事務局  
 [TEL] 03-3535-3501 [FAX] 03-3562-4840 [URL] [www.cgarts.or.jp/scg/](http://www.cgarts.or.jp/scg/)

## 最優秀賞（各部門より1名）



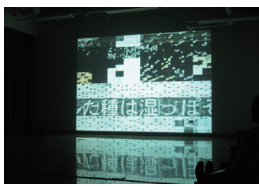
**静止画部門** 「ship」 15枚組作品  
谷川 瑛一（武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 2年）

〔講評〕アイデアは単純でも、複雑で見事なグラフィックに仕上がっている。この幸福な結果は、作者がさまざまとところで辛抱強く撮影を続け、出来上がったものから学び、要らないものは捨てるといった具体的な作業を繰り返し、その成果を自分のものにしたからこそ生まれたものだろう。都市研究とファンタジーの高い次元での融合がこの作品の魅力になっており、審査員全員がそれを讃えた。



**動画部門** 「記憶全景」  
横田 将士（東京造形大学 造形学部デザイン学科 2008年卒業）

〔講評〕静止画像として撮影した日常風景を印画紙に出力し、一枚ずつ切り出し時間軸にそって積み重ねてアニメーション化していくという独自性ある表現が、作者自身の記憶と結びつき不思議な世界を描き出している。自身のイメージを形作るために実験を繰り返しまとめあげた本作品はコンセプチュアルな映像表現として完成度が高く、将来性があり今後の展開が楽しみな作品だ。



**インタラクティブ部門** 「全的に歪な行且 - 第二犯 -」  
多田 ひと美（多摩美術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻 情報デザイン研究領域 1年）

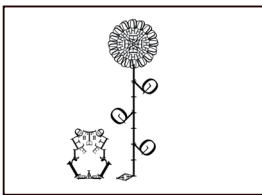
〔講評〕本作品はネットから採取したニュースを読み上げながら、関連するイメージを最初はゆっくりと分かりやすく、徐々に加速しながら表示していく。加速するにつれてある段階で我々は意味を追うことを断念してしまう。メディアアート然とした作品でありながら、MADニュースのようなサブカルチャー的なノリもあり、こどもの言葉遊びの様相もある。見る人に応じて多様に開かれている構造を持つことがこの作品の強さである。

## U-18賞（18歳以下が対象）



**静止画部門** 「花ヲ抱ク」  
山田 有紀（大阪市立工芸高等学校 映像デザイン科 3年）

〔講評〕シンプルな画像処理で、一見するとコントラストや彩度の高さが目立つが、実は2階調化や単色化、適度な余白を用いて不要な情報を間引くことによって画像全体にまとまりが生まれ、スタイリッシュな表現に成功している。



**動画部門** 「GO IN SEARCH A SUNFLOWER SEED」  
小塚 彩（埼玉県立芸術総合高等学校 映像芸術科 3年）

〔講評〕この作品はU-18というカテゴリーの中だけで語ることにちゅうちょさせられる、非常に高い表現力と技術力を持った作品である。英単語を分解し、それをウイットに富んだキャラクターに再構築させたデザイン力は特筆に値する。そしてそのキャラクター達が生き生き動き回る、白黒の画面はシンプルだが、アニメーションの楽しさを観るものに与えてくれる。音楽とのシンクロも心地よい。ますます今後は楽しみな高校3年生だ。



**インタラクティブ部門** 「matreshka × world」  
鳴河 美佳（埼玉県立芸術総合高等学校 映像芸術科 3年）

〔講評〕FLASHによる入れ子構造のマトリョーシカ人形のしかけ絵本。宇宙、地球、森、海、街・・・と模様が変わる。瞬きする人形の瞳と表情がとても可愛い。入れ子構造には作者の哲学が込められているのだろうか。

## 特別賞（該当作品があれば全部門より1作品）



**動画部門** 「ケータイ狂想曲」  
烏田晴奈（多摩美術大学大学院 美術研究科デザイン専攻 情報デザイン領域 1年）

〔講評〕作者は昨年に引き続きの受賞である。昨年同様、自作の楽曲と自作のアニメーションとのコラボレーションというスタイルを踏襲している。どこか懐かしさを感じさせる独特のアニメーションと軽快な楽曲は顕在だ。今回は携帯電話が持つアイロニーを作者の持ち味を損なわずにテーマとして取り込んだところに、進歩が見られる。ひとりの作家が成長していく過程を見ることが出来るのは、審査する側にとっても喜びでもある。

# 受賞作品一覧

(賞別に作品名五十音順)

## 静止画部門

賞	作品名	フリガナ	作者名	フリガナ	学校名	学部学科名	学年	出身地	ジャンル
最優秀賞	ship	シップ	谷川 瑛一	タニガワエイイチ	武蔵野美術大学	視覚伝達デザイン学科	2	埼玉県	写真
優秀賞	Defragment of Field - 視界のデフラグ -	デフラグメント オフフィールド - シカイノデフラグ	津島 岳央	ツシマ タカヒロ	東京藝術大学	大学院美術研究科	2	大阪府	グラフィック
優秀賞	Real Estate-Houses for the Beautiful Landscape	リアルエステイト	飯沼珠実	イヌマタマミ	ライブチヒ視覚芸術アカデミー		研究生	東京都	写真
佳作	Helianthus annuus	ヘリアンサス・アヌス	村山 誠	ムラヤマ マコト	情報科学芸術大学院大学	メディア表現研究科	2	神奈川県	グラフィック
佳作	LIGHTS	ライツ	鈴木枝美子	ススキエミコ	横浜美術短期大学	映像メディアデザインコース	卒業	埼玉県	写真
佳作	SCIENCE	サイエンス	大石 晃裕	オオイシ コウユウ	多摩美術大学大学院	グラフィックデザイン 研究領域	2	静岡県	グラフィック
佳作	tokyo lady	トウキョウレディ	矢後直規	ヤゴナオノリ	武蔵野美術大学	視覚伝達デザイン学科	4	静岡県	グラフィック
佳作	群衆	クンシュウ	神田 智哉	カンダ トモヤ	多摩美術大学	美術学部情報デザイン/学科情報芸術コース	4	新潟県	グラフィック
U-18	花ヲ抱ク	ハナヲダク	山田 有紀	ヤマダ ユキ	大阪市立工芸高等学校	映像デザイン科	3	大阪府	グラフィック

## 動画部門

賞	作品名	フリガナ	作者名	フリガナ	大学名	学科名	学年	出身地	ジャンル
最優秀賞	記憶全景	キオクゼンケイ	横田 将士	ヨコタ マサシ	東京造形大学	造形学部デザイン学科	卒業	埼玉県	実写合成
優秀賞	ALGOL	アルゴル	岡本 憲昭	オカモト ノリアキ	多摩美術大学	美術学部グラフィックデザイン学科	卒業	山梨県	手描きアニメーション
優秀賞	ハビー	ハビー	一瀬 皓コ	イチノセヒロコ	東京工芸大学大学院	芸術学研究科	2年	神奈川県	CGアニメーション
佳作	trip	トリップ	山口 翔、前田侑穂、猪又典子、大塚理絵、増田佳織	ヤマグチ ショウ他	静岡文化芸術大学	デザイン学部メディア造形学科	卒業	静岡県	実写合成
佳作	umbrella	アンブレラ	寺園 聖市	テラソノ セイイチ	デジタルハリウッド	本科CG・映像クリエイター専攻	卒業	青森県	実写合成
佳作	印鑑検査工場	インカンケンサコウジョウ	石上 裕規、松岡昌志、高木友勝、平岡祐二、中森達也、谷崎徳洋、餅木貴彦、中野典弘	イシガミ ユウキ他	HAL 名古屋	デジタル映像学科	4	三重県	CGアニメーション
佳作	はじまりはまつ毛の先から	ハジマリハマツゲノサキカラ	乗田 朋子	ノリタ トモコ	東北芸術工科大学大学院		1	鹿児島県	CGアニメーション
佳作	まよなかのいちご	マヨナカノイチゴ	竹内 良貴	タケウチ ヨシタカ	東京工科大学	メディア学部メディア学科	4	長野県	CGアニメーション
U-18	GO IN SEARCH A SUNFLOWER SEED	ゴー イン サーチャ サンフラワー シード	小塚 彩	コツカ アヤ	埼玉県立芸術総合高等学校	映像芸術科	3	埼玉県	FLASHアニメーション

## インタラクティブ部門

賞	作品名	フリガナ	作者名	フリガナ	大学名	学科名	学年	出身地	ジャンル
最優秀賞	全的に歪な行且 - 第二犯 -	ゼンテキニイビツナコウカツ - ダイニハン	多田 ひと美	タダヒトミ	多摩美術大学大学院	美術研究科 デザイン専攻 情報デザイン研究領域	1	香川県	インスタレーション
優秀賞	Open Reel Ensemble	オープンリールアンサンブル	和田 永、佐藤 公俊、朝倉 卓也、山下 蓮、岡野 沙有	ワダ エイ他	多摩美術大学	美術学部情報デザイン学科	3	東京都	インスタレーション
優秀賞	風の音楽 ephemeral melody	カゼノオンガク エフェメラルメロディ	鈴木 莉紗、鈴木太朗、飯田 誠、荒川忠一	スズキリサ他	東京大学大学院	学際情報学府文化・人間情報学	2	神奈川県	インスタレーション
佳作	Clouds connector	クラウドズコネクタ	伊勢 尚生	イセ ナオキ	多摩美術大学	美術学部情報デザイン学科	4	青森県	インスタレーション
佳作	folklore / internet / recording	フォークロア インターネット レコーディング	濱 哲史	ハマ サトシ	多摩美術大学	美術学部 情報デザイン学科 芸術コース	4	大阪府	インスタレーション
佳作	otodama	オトダマ	見崎 央佳	ミサキ ヒロカ	静岡文化芸術大学	デザイン学部 メディア造形学科	3	静岡県	インスタレーション
佳作	YOTARO	ヨタロウ	小野千代子、園村大喜、平井まどか、松崎ワグオ哲也、村本政忠	オノチヨコ他	筑波大学大学院	人間総合科学研究科/生命環境科学研究科	1	茨城県、京都府、群馬県、栃木県、福島県	アプリ
佳作	かおさがし	カオサガシ	松本 遥子、堤 孝広、寺澤 玲緒、宮田 直貴、藪 慎一郎	マツモトヨウコ他	北陸先端科学技術大学院	大学 知識科学研究科	1	石川県	インスタレーション
U-18	matreshka 5 world	マトリョーシカ ワールド	鳴河 美佳	ナルカワミカ	埼玉県立芸術総合高等学校	映像芸術科	3	埼玉県	インスタレーション

## 全部門から 1 作品

特別賞	ケータイ狂想曲	ケータイキョウソウキョク	島田晴奈	カラスダハルナ	多摩美術大学大学院	美術研究科デザイン専攻 情報デザイン領域	1	広島県	手描きアニメーション
-----	---------	--------------	------	---------	-----------	----------------------	---	-----	------------

## 審査総評 (一部抜粋)

今年は受賞された方々だけではなく、ノミネートされた作品達は、どの部門においてもレベルが非常に高く、もはや”学生”という肩書を必要としない、若手作家の集まりなのだという印象を強く受けました。それは現に、この展覧会がメディアアートの登竜門として、ここを巣立った若者達が内外で活躍をしている姿を見れば明らかでしょう。

そして、今年の作品傾向として印象深かったのは、ただ単にデジタル技術を駆使しただけの表現ではなく、デジタルによって生まれた結果・効果をもう一度、人間のフィールドに、つまりアナログの世界に取り込み、そこでアナログならではの味付けをし、さらにそれを再度、デジタル処理し仕上げる。そこにはアナログとデジタルを軽やかに行き来する、若い世代の柔軟さを見て取ることが出来ます。また今年の驚きはU-18の方々の作品の完成度の高さと、U-18というフィルターを通して審査する必要性を感じさせない力作が多数ありました。”教育”という問題が色々取りざたされる昨今ですが、確実にデジタル技術を使った表現は子供達の中に浸透し、成果を上げていると思います。さて、来年は第15回となります。ある意味でひとつの区切りの次期であり、審査員一同及びスタッフ一同、よりすばらしい展覧会にする為に邁進して行きます。

審査委員長 原田大三郎

## 第14回学生CGコンテスト 実施概要

- 主催 CG-ARTS 協会 (財団法人 画像情報教育振興協会)
- 審査委員会 (敬称略・50音順) 原田大三郎 (審査委員長・多摩美術大学教授)  
内田まほろ (キュレーター)  
クワクポリョウタ (メディア・アーティスト)  
小阪 淳 (アーティスト)  
児玉幸子 (電気通信大学准教授)  
小林昭世 (武蔵野美術大学教授)  
豊嶋勇作 (デジタル・フロンティアプロデューサー)  
中谷日出 (NHK 解説委員)  
畠山直哉 (写真家)
- 審査基準 アート・デザイン・エンターテインメント・工業分野など、ジャンルは不問。制作過程の論理性・技術力・審美性・オリジナリティなどから、いかに新しい表現を追求しているかを評価します。
- 応募期間 2008年7月3日(木)～9月19日(金)必着
- 応募資格 CGやデジタル技術を用いて作られた作品。学生であること。ただし、社会人学生や2008年3月に卒業された方の卒業制作作品なども対象となります。
- 応募作品数  
静止画部門 581 作品  
動画部門 328 作品  
インタラクティブ部門 108 作品  
合計 1,017 作品
- 各賞 各部門ごとに最優秀賞1作品、優秀賞2作品、佳作5作品、U-18賞1作品  
合計 最優秀賞3作品、優秀賞6作品、佳作15作品、U-18賞3作品、特別賞1作品
- 賞品 賞品：デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、周辺機器等  
\*提供：キヤノンマーケティングジャパン株式会社、日本シーゲイト株式会社、日本AMD株式会社

## 表彰式・受賞作品展

- 会場 国立新美術館 (東京・六本木)
- 表彰式 2009年2月7日(土) 11:00～12:00
- 記念パーティ 2009年2月7日(土) 12:30～14:00
- 受賞作品展 2009年2月4日(水)～2月15日(日) ※文化庁メディア芸術祭協賛事業として同時開催。
- 展示内容 受賞作品を中心とした作品展示と上映
- 入場料 無料

受賞者への個別取材、表彰式や作品展への取材は随時お受けしておりますので、広報までご一報ください。

## CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）について

CG-ARTS 協会は 1992 年に設立した文部科学省から設立認可を受けた財団で、主に CG 分野における『人材育成』と『文化振興』を行っています。主な事業内容は以下の通りです。

■カリキュラムの編纂と教材の開発

■3つの検定試験の実施

CG クリエイター検定 / Web デザイナー検定 / CG エンジニア検定 /

画像処理エンジニア検定 / マルチメディア検定

■教育環境の整備・普及と指導者の養成

■学生 CG コンテストの主催

■文化庁メディア芸術祭の主催

■文化庁メディア芸術プラザの企画運営

### □会員企業

<理事会員>株式会社 NTT データ / キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社 / 株式会社電通 / 日本 SGI 株式会社 / 日本電気株式会社 / 株式会社博報堂

<会員>株式会社インフォバーン / 株式会社インプレスジャパン / 株式会社ウチダ人材開発センタ / オートデスク株式会社 / 株式会社大林組 / キヤノン IT ソリューションズ株式会社 / キヤノンシステムアンドサポート株式会社 / キヤノンソフトウェア株式会社 / キヤノンネットワークコミュニケーションズ株式会社 / 株式会社クリエイティブ・コミュニティサービス / 株式会社クリエイティブ・21 / コモンス株式会社 / 株式会社資生堂 / ジャパン・デジタル・コンテンツ信託株式会社 / 株式会社シュガーカンパニー / 新日鉄ソリューションズ株式会社 / ソフトバンク クリエイティブ株式会社 / 株式会社ソフト流通センター / 大日本印刷株式会社 / 株式会社丹青社 / 株式会社テレビ朝日 / 株式会社テレビ東京 / 株式会社電通テック / 株式会社東京放送 / 凸版印刷株式会社 / 株式会社日経 BP / 株式会社日交 / 日興美術株式会社 / 日本テレビ放送網株式会社 / 株式会社フォーラムエイト / 株式会社ビーエヌ朝日 / 株式会社フジテレビジョン / 株式会社プレシース / 株式会社プレミアムエージェンシー / 株式会社プロネット / プロレクス株式会社 / 株式会社メンバーズ / 株式会社ライトパブリシティ / 株式会社レイ (50 音順 2008 年 10 月現在)